

## ～持続性の追求～

2012年11月10日発行 11月号 No. 213

### ◇「第一回オープンセミナー」

研修委員長 大島弥一〔新宿支部 大島運輸(株)〕

平成24年10月16日東京都トラック総合会館7階大会議室で今年度第一回オープンセミナーを開催しました。人材養成等財団の後援で、講師には京都大学大学院工学研究科教授の藤井聡先生と、昨年度に引き続き三橋貴明氏(作家・経済評論家)をお招きし、それぞれ30分、更にはロジ研の前本部長、竹内政司顧問も加わっての30分のパネルディスカッションと短いながらも非常に密度の濃いセミナーとなりました。



藤井教授

総勢180名ほどの方々にお集まりいただきました事、まずもって御礼申し上げます。



三橋氏

引続き第2回以降も一般の参加者を巻き込んでトラック協会へのイメージアップを図れたらと目論んでおります。さてロジ研の本年度の統一テーマは『持続性の追求』です。その中で藤井先生は「国土強靱化」、三橋先生は「インフラ整備の必要性」と「経済規制緩和のもたらすもの」と理解しづらい内容と思いきや、政治・経済から物流業への影響まで分かりやすく、眠くなる暇のないテンポと笑いを交えながらご講義いただき、その後のパネルディスカッションでは、まず初めに竹内顧問が一般参加者向けに我々運送業界の現状を丁寧に説明した上での熱い討論会でした。



その後4階へ移っての懇親会では人気のある両講師陣のお陰で私も何度となく一般の方のカメラマンに変わる程、熱気と活気のある会となりました。



今後は1月の第2回オープンセミナーを経て、3月のフォーラムへと続けてまいりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

### <広報委員会一同>

先日のオープンセミナー講師の三橋貴明先生が自らのブログ(政治ブログランキング3年連続1位)に下記の文章を載せて拡散をなさってくれました。研修委員会のご協力により、広報委員会として一般の方に我々業界の実情とロジスティクス研究会の存在を十分にアピール出来たのではと自画自賛ではありますが確信をしております。

### [ブログよりの転載文]

昨日は「東京都トラック協会ロジスティクス研究会 第1回オープンセミナー」に大勢の方々にお越し頂きまして、ありがとうございました。トラック運送業界は、今年4月29日に「関越自動車道高速バス居眠り運転事故」が起きた長距離バス業界同様に、不要な(というか改悪となる)規制緩和により、安全性が下がり、実際にトラックを持っている中小運送業の方々の所得が減りつつあります。

そういう意味で、規制緩和による料金引き下げという目標は(安全性などを犠牲にしつつ)達成されつつあるわけですが、くどいようですが、「今はデフレだろ!」・・・という話です。

特に酷い話は(これは長距離バスも同じですが)、運送業への参入が「自由化」された結果、トラックを持たなくても運送業が営めるようになったことです。結果的に、現場を知らない(何しろトラックが無いのです)トラック運送企業が次々に誕生し(主に大会社が子会社として設立する)、仕事を取ってきて中小運送業に下請けに出すというスタイルのビジネスモデルが確立しています。当然、コストカットのしわ寄せは中小運送業に行くわけです。

長距離トラックのように、事故が起きる可能性がある業界で、安全性を犠牲にしてまで規制緩和により市場競争を激化させ、価格低下を「デフレ期に」達成しているという話です。何をやっているんだ・・・、と思われませんか。

政権交代後は、この辺りの是正も必要だと思います。そもそもトラックを持たず、現場を知らない「トラック運送企業」が存在しているとは、わたくしは思いません。

<以上>

### ◇スケジュール《○ロジ研行事予定》

- 11/13(火) 16:00 三組織連絡会 (東ト総合会館6階小)
- 11/19(月) 17:00 正副本部長会議 (東ト総合会館6階小)
- 11/28(水) 17:00 本部連絡会 (東ト総合会館6階研修室)
- 12/18(火) 17:00 正副・幹事会議、忘年会 (懐食 みちば)



◇「第19回の温故創新セミナー」

テーマ 「童謡界の三大詩人ー野口雨情を訪ねて」  
 場所 北茨城市並びにいわき市  
 参加者 19名  
 行程 平成24年10月26日(金)～27日(土)  
 12時出発のJR特急スーパーひたち23号に乗車  
 勿来からはホテルの迎いのバスで「五浦観光ホテル」  
 6階のコンベンションホールで15時から意見交換会

- ・下川企画委員長司会
- ・松本本部長挨拶
- ・ホテルの担当者より3.11の被災状況等を説明  
 ※下図参照
- ・ロジ研についての意見交換会



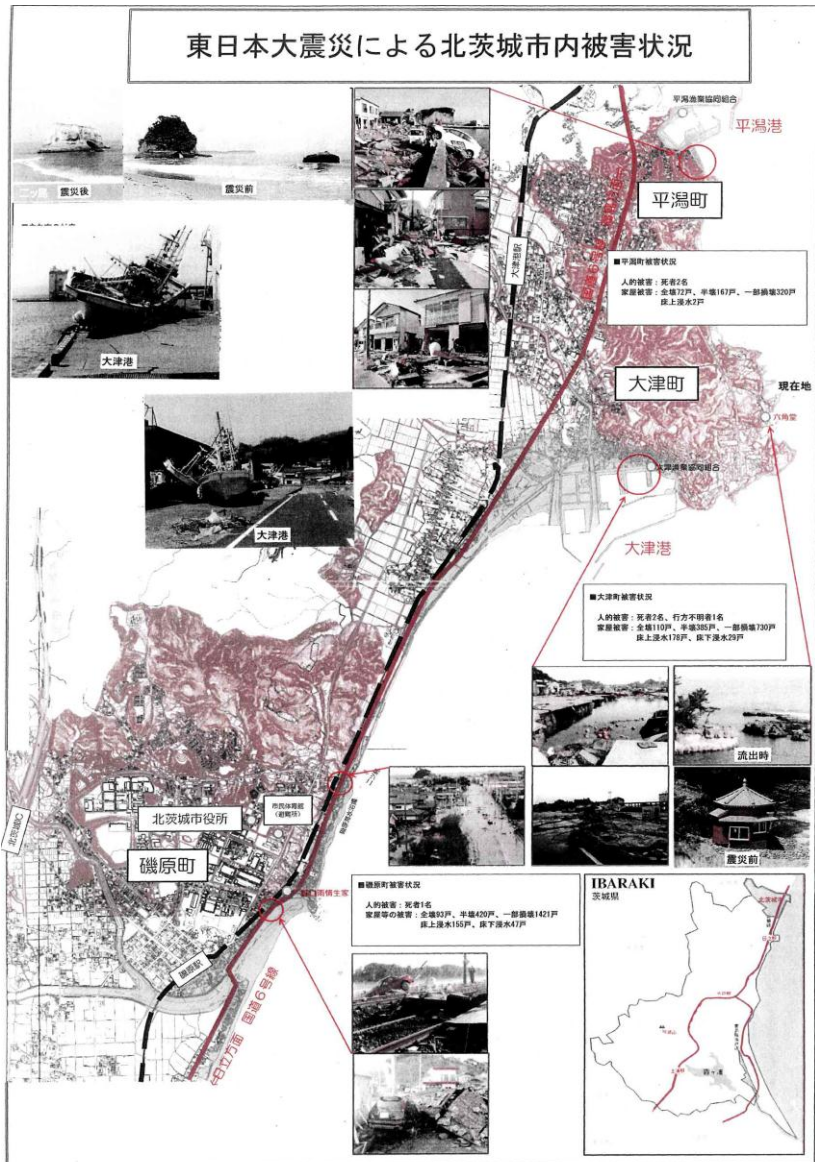
菊地マネージャーが説明



翌27日は、9時から貸切バスで野口雨情記念館  
 アクアマリン福島(水族館)で被災状況説明と施設視察



寿司屋の昼食でも交流を図り、バスで勿来駅。  
 スーパーひたちで上野に帰着しました。



◇「温故創新を振り返り」

広報副委員長 松下章一〔江戸川支部 (有)松下運送〕

今年は、ここ2年連続して海外研修であったことと、松本本部長就任並びに多くの新役員の増員の親睦を主な目的をとして、昨年の大震災被災地でもある茨城県北茨城市の五浦温泉に1泊2日で行うこととなりました。

研修旅行についての報告は、左頁をご覧ください。

私の場合、なぜか裏温故創新を担当することが多いのですが、懇親会終了後、某先輩と健全な普通のマッサージを部屋で受け、そのまま寝てしまい裏温故创新的記事のねたを仕入れることを失念してしまい誠に申し訳なく思います。

ただ、行き帰りの常磐線の中で飛び交った、仕事の事からロジ研の事、政治についてと大激論そして缶ビール缶チューハイ日本酒からも二次会に参加された方々、そのお姿は、想像に難くないところです。

さぞや電車の中やホテルの他の宿泊客の方々には、迷惑をかけたのではないかと思います。



しかしながら今年の温故創新は、親睦のみならず、昨年の大震災の傷跡の一部を垣間見たり多くのことを論ずる大変意義のある研修旅行であったと思えました。



このメリハリのあるようで無い、不真面目なようでクソ真面目な集団のパワーは、参加してみないと分からない素晴らしいもの。

来年は、まだ参加されたことの無い会員の皆様の参加をお待ちしております。温故創新は、ロジ研会員のパワースポットになること間違いありません。

ちなみに、いわき市での昼食会場でホテルの研修の際に保守支持を訴えていた広報委員長の前に民主党のいわき市議を呼んだのは、私です。

◇「＜美食の点呼記録＞・・・摩天楼編Ⅳ」

あれだけ『暑い』と文句を言っていたのが、舌の根も乾かぬうちに『寒い』になった。というわけで、今回はそんな言うだけ番長に牛たん料理の老舗をご紹介します。

最近では、仙台の牛たん焼きが東京でも手軽に食べられる様になった。焼肉屋のそれとは違う厚切りのたんに舌鼓を打つのも良いが、もっと色々な風味を堪能したい。そんな時は三栄町にある『たん焼き 忍』に行ってみる。

まずは、ゆでたん。しっかりと形を保っているが、箸を入れるとスッと解れる、見事な一品だ。続いてたんシチュー。想像したものと違い、煮込んだたんにデミグラスソースが掛かっているシンプルなものであるがしっかりした味だ。他にも季節の野菜などが充実しており、メのたん焼きへとアクセントをつける。

これだけの品質、ゆっくりと味わいたいが行列店の性。店内は、至って賑やかなのだ。こんな店では、近いうちに！などと長居せず、サッと愉しんで早期解散するのがスマートではないだろうか。たん焼き 忍 ※予約をお勧めします。

新宿区三栄町 16 松啓ビル 1F

営業時間 17:00～ 03-3355-6338 ※平均予算 ¥5,000

<ペンネーム 常時無礼講>